

発行 / ごみ減量対策課 〒192-8501 元本郷町三丁目24番1号 ☎620-7256(直通)
ホームページアドレス <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/gomi/index.html>

10月1日から♻️マークは全て資源物

市はこれまで、資源物として出せるプラスチックを3品目に限定していましたが、10月1日から♻️マークのあるプラスチック製容器包装」を全て資源物とします。これにより、不燃ごみを大幅に減らすことができます。

また、現在集積所で回収している資源

物を、戸別回収に変更します。これまでの集積所回収では資源物を出すのが重い、遠いなどの声がありました。資源物を出しやすくすることで、分別を促進してさらにごみの減量を進め、環境への負荷がでる限り低減される「循環型都市八王子」を、皆さんとともにめざしていきます。



▲♻️マークを目印に、プラスチックと不燃ごみを分別

10月からの実施に先立ち、市民の方に、不燃ごみを新しい方法で分別していただき、感想を伺いました。



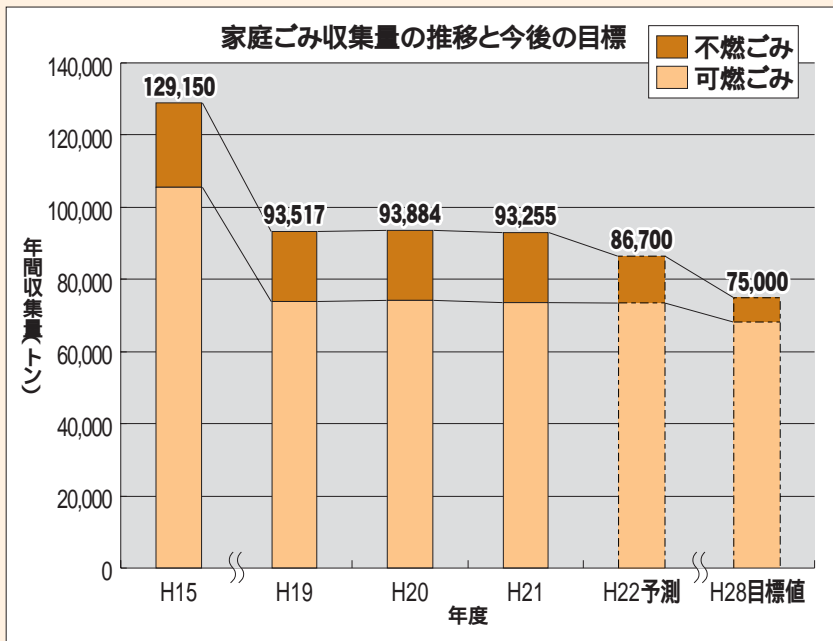
協力していただいた元八王子町三丁目の小原さんご夫妻

不燃ごみを一つひとつ見ると、♻️マーク(♻️)が付いたものが本当に多く、分別すると不燃ごみがとても少なくなることに驚きました。食べ物の容器だけでなく、洗剤の詰め替え用袋や、ワイシャツが入っている袋にも♻️マークは付いているんですね。小さくて見つけにくいものもありましたが、見つけたときは「あっ、ここにあった!」と思わず声に出してしまいました。資源にするためには汚れを落とす必要があります。少し手間もかかりますが、環境のためには私たちの身近な生活の見直しが必要なので、今後もしっかり協力しようと思います。

もくじ(主な内容)

- P2…プラスチック資源化拡大によりさらなるごみ減量を
 - ・プラスチック資源化拡大特集号を全世帯に配布
 - ・町会・自治会へ説明に
- P3…不燃ごみ5リットル袋を販売
 - ・40リットル袋のばら売り
 - ・資源物の持ち去りを禁止する条例改正
 - ・多摩清掃工場に搬入する収集可燃ごみの地域を拡大
- P4…お知らせ

～プラスチックの資源化拡大によりさらなるごみ減量を～

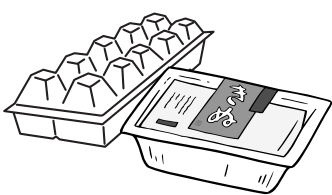


家庭から収集するごみ量は、平成16年10月のごみ有料化により大幅に減少し、現在もその効果を維持しています。10月からのプラスチック資源化拡大の実施、資源物の出し方の変更及び可燃ごみの中に10パーセント以上含まれる資源化可能な紙類の分別を進めていくことで、22年度のごみ収集量は21年度と比べ約6千500トン（約7パーセント）減るを見込んでいます。

また、28年度では、可燃ごみ・不燃ごみ合わせて計画収集量を7万5千トン（19年3月策定）ごみ処理基本計画」として、21年度と比べ約1万8千200トン（約19パーセント）の減量を目標としています。

皆さんのご協力をお願いします。

10月からプラスチックとして回収するものは マークが目印です



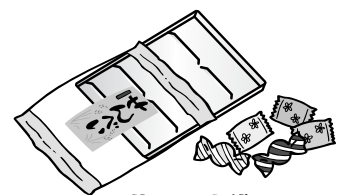
▲豆腐・卵などのパック



▲お菓子などの袋



▲果物を包んでいるネット



▲菓子の小袋、仕切りトレイなど



◀プリン・ヨーグルトなどのカップ



▲弁当・惣菜などの容器



▲食品を包んでいるラップ・フィルム

このようなプラスチック製の容器や包装が回収の対象です

「ごみ・資源物の出し方の変更」についてのお知らせ

広報「プラスチック資源化拡大特集号」を全世帯に戸別配布します

新しい「ごみ・資源物の出し方」を解説した、広報はちおうじ『プラスチック資源化拡大特集号』を7月下旬に、全世帯へ戸別配布します。プラスチックの分別方法や出し方などについては、この広報特集号をご覧ください。

なお、10月から使用する新しい「収集カレンダー」と、ごみ・資源物の分別方法などを詳しく説明した「分別の手引き」を、9月上旬に戸別配布します。

お問い合わせは、ごみ減量対策課（☎620・7256、FAX626・4506）へ

町会・自治会などへ説明に伺います


10月からの「ごみ・資源物の出し方」について、市の職員が直接お伺いして説明します。

対象は町会・自治会・マンションの管理組合など。原則10人以上の参加と会場（町会会館など）のご用意をお願いします。

お申し込みは、ごみ総合相談センター（☎696・5353、FAX692・0900）へ

不燃ごみ5リットルの袋を 新たに販売

～7月15日から指定袋取扱店で～

今まで不燃ごみとして収集していたプラスチック類のうち、マークのあるものは資源物に、汚れたものやおもちゃなどのプラスチック製品は可燃ごみとなるため、不燃ごみが大幅に減少することが予想されます。そこで、新たに不燃ごみ専用ミニ袋(5リットル)を販売します。



▲ミニ袋でごみ減量を

40リットルの袋のばら売り (1枚単位で販売)を実施

～7月15日から一部の取扱店で～

不燃ごみの減少が予想されることや、40リットルの袋はたまにしか使わないという声があることから、40リットル袋(可燃ごみ・不燃ごみとも)のばら売りを行います。

ばら売り取扱店は7月下旬に全世帯に配布する『プラスチック資源化拡大特集号』でお知らせします。



▲1枚75円で販売。必要な枚数だけご購入いただけます。

資源物の持ち去りを禁止する条例改正を予定

ごみ集積所から市の指定業者以外の者が、資源物を無断で持ち去る行為が後を絶ちません。市はこうした行為を禁止し、違反者に罰金を科せるよう「八王子市

廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例」の一部改正を予定。平成22年10月からの施行をめざしています。

今年も夏休みに 小学生ポスター 全作品を掲出

市では小学4年生を対象に、ごみ問題に関するポスターを募集し、毎年3,000点を超える作品が集まります。

ごみ問題や未来の地球などをテーマにした作品をぜひご覧ください。

場所 JR八王子駅北口地下広場

期間 8月1日(日)～9月30日(木)



▲昨年の作品から

10月から多摩清掃工場へ収集可燃ごみを 搬入する地域を拡大します

平成16年10月のごみ有料化後6年が経過しようとしている現在もごみの減量効果は持続しています。

この成果として、清掃工場の効率的な施設運営から、現在の市内3工場(戸吹、北野、館清掃工場)と多摩清掃工場(多摩市、町田市、八王子市で運営)の処理体制から、1工場の停止が可能となり、稼働開始から28年が経過し老朽化が著しく、発電や余熱利用設備が無い館清掃工場を停止することができる状況となりました。このため各工場への収集可燃ごみ搬入地域を見直し、多摩清掃工場との相互協力から、多摩清掃工場へ搬入する地域を今年10月から拡大します。

なお、収集地域の見直しにより、収集時間に変更になりますので、ごみは午前8時30分までにお出してください。

【拡大する地域】

打越町、宇津貫町、大船町、片倉町、北野台1～5丁目、絹ヶ丘1～3丁目、小比企町、館町の一部、寺田町、中山、長沼町、七国1～6丁目、南陽台1～3丁目、西片倉1～3丁目、兵衛1・2丁目、みなみ野1～6丁目、及び多摩ニュータウン地域以外の上柚木、下柚木、堀之内、鎌水

上記の拡大する地域から、可燃・不燃・粗大ごみを多摩清掃工場へ持ち込むことはできません。

